

明るい未来へ一歩、一歩



匝瑳市長 太田安規

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返って

昨年を顧みますと、匝瑳市制施行から10年が経過し、さらなる飛躍に向け、新たなスタートを切った年でありました。

2月には、吉田小学校屋内運動場が完成し、これで市内全

の小・中学校の耐震化が終了いたしました。

4月には、「協働」による市民参加のまちづくりを進めるため、「市民活動サポートセンター」の充実を図るとともに、市民活動団体などから提案を募り、地域の課題解決を図る「市民提案型事業」を始めました。

また、運転免許を持たない高齢者を対象とした、地域交通利用券（タクシー利用券）の利用範囲を隣接市町まで拡大し、試

行から本格実施いたしました。

さらに、市民一人ひとりの健康づくりを進めるため、「健康増進計画」と「母子保健計画」「がん対策推進計画（第2次）」「歯と口腔の健康づくり推進計画」の四つの計画からなる「そうさ健康プラン」と、「第2次匝瑳市食育推進計画」を策定いたしました。

5月に始まった国民健康保険特定健康診査では、若い世代の生活習慣病予防のため、対象年

平成29年2月に吉田小学校屋内運動場が竣工し、市内全ての小・中学校の耐震改修が終了した



齢を35歳以上から30歳以上へと引き下げました。

また、市役所を訪れる市民の皆様の利便性の向上とサービスの充実を図るため、市役所庁舎内のレイアウトを一部変更し、相談スペースなどを増設いたしました。

未来へと継承するために

本年の主な取り組みとしては、健康・福祉・医療分野では、高齢者福祉について、地域包括ケアシステムの構築に向け、地域の実情に応じた支援事業の充実を図ってまいります。

市民病院については、昨年11月に、国保匠瑳市民病院新改革プラン及び建替整備検討委員会から「国保匠瑳市民病院建替整備基本構想・基本計画（案）」について答申をいただいたところであり、今後は、病院事業会計の健全化対策を最優先に取り組んでいく予定であります。

産業・経済分野では、地域経済の活性化に向け、「企業誘致促進事業」や「空き店舗活用支援事業」により、企業誘致などを推進してまいります。

また、本市の基幹産業である農業の環境整備を図るため、新規就農者の確保や販路拡大など、「強い農業経営」に向けた支援の充実を図ってまいります。

生活環境・都市建設分野では、津波避難対策として、本市で3基目となる津波避難タワーが栄地区に完成予定であります。

また、空き家などの増加に対応するため、昨年は「匠瑳市空家等対策の推進に関する条例」を施行したところでありますが、本年は、この空き家などの対策を総合的かつ計画的に実施するため、「空家等対策計画」を定め、その実態把握や相談体制の整備を図ります。

これらにより、地域の安心・安全のための環境整備を進めてまいります。

教育分野では、教育施設の整備として、八日市場、栄、野田の各小学校でトイレの洋式化改

修工事を実施し、平成33年度までに、全ての小・中学校のトイレの洋式化を実施いたします。

また、生涯学習施設では、山桑公園野球場の改修工事を実施する他、子どもから高齢者まで気軽に楽しめる軽スポーツであるパークゴルフについて、吉崎浜野外活動施設内にパークゴルフ場を整備すべく、準備を進めてまいります。

住民協働・行財政分野では、地域におけるさまざまな課題やニーズに対応するため、さらなる市民参加のまちづくりと市民協働を推進してまいります。

先人の努力により受け継がれてきた匠瑳市を、子どもたちの未来へ継承していくため、住む人が誇りを感じ、いつまでも住み続けたいと思える活力と魅力あふれるまちづくりに、今後も市民の皆様と共に全力で取り組んでまいりたいと考えております。結びに、新年が皆様にとりまして笑顔が輝く、希望に満ちた一年になりますよう心からお祈り申し上げます。